

第4章 道路案内標識の整備方針

1. 道路案内標識における共通事項

1-1. 北広島町内の道路案内標識に表記される目標地について

北広島町には様々な場所に観光施設や景観資源が点在し、その移動においては車での移動が基本となっており、町内の回遊性を高め円滑な誘導を実現するためには、主要案内路線に立つ道路案内標識が大きな役割を担っている。本計画では以下に示す108系・114系の整備方針について定め、他の標識についてはこの方針に準拠するものとする。

■案内誘導のための主な道路案内標識



108系標識が青板と呼ばれる一般的な道路案内標識であり各交差点や交差点間に設置されている。108系標識に表記される地名を目標地と呼び、目標地には以下に示す一定の原則が定められている。

●道路の分類と用いる地名の原則

道路の分類

主要幹線道路	大都市圏相互を連絡し圏内の骨格となる国道で、高速道路を補完する道路
幹線道路	おもに主要幹線道路以外の国道と主要地方道で、主要幹線道路を補完する道路
補助幹線道路	おもに一般都道府県道などで、幹線道路を補完する道路

道路の分類と用いる地名

用いる地名	重要地	主要地	一般地
道路の分類			
主要幹線道路	◎	○	
幹線道路	◎	◎	○
補助幹線道路	◎	◎	◎

◎第1ランク（原則として用いる地名）
○第2ランク（2地名表示の場合用いる地名）

●広島県の重要地と主要地

重要地	主要地
広島、福山、三次	可部、呉、三原、庄原、尾道、東広島、東城、竹原、大竹、安芸太田、世羅、廿日市、府中※、因島、江田島、安芸高田、海田、宮島口、広島空港 ※は備後地域の府中を指します。

出典)国土交通省ホームページ(平成19年3月末時点)

■上記原則により町内の主要案内路線上の道路案内標識に係る前提条件

- ・北広島町内には重要地も主要地も存在しない
- ・主要幹線道路上の道路案内標識には原則として「重要地」と「主要地」を目標地として表記する
- ・北広島町内の主要案内路線の大半は主要幹線道路が占めている

↓
結果的に・・・

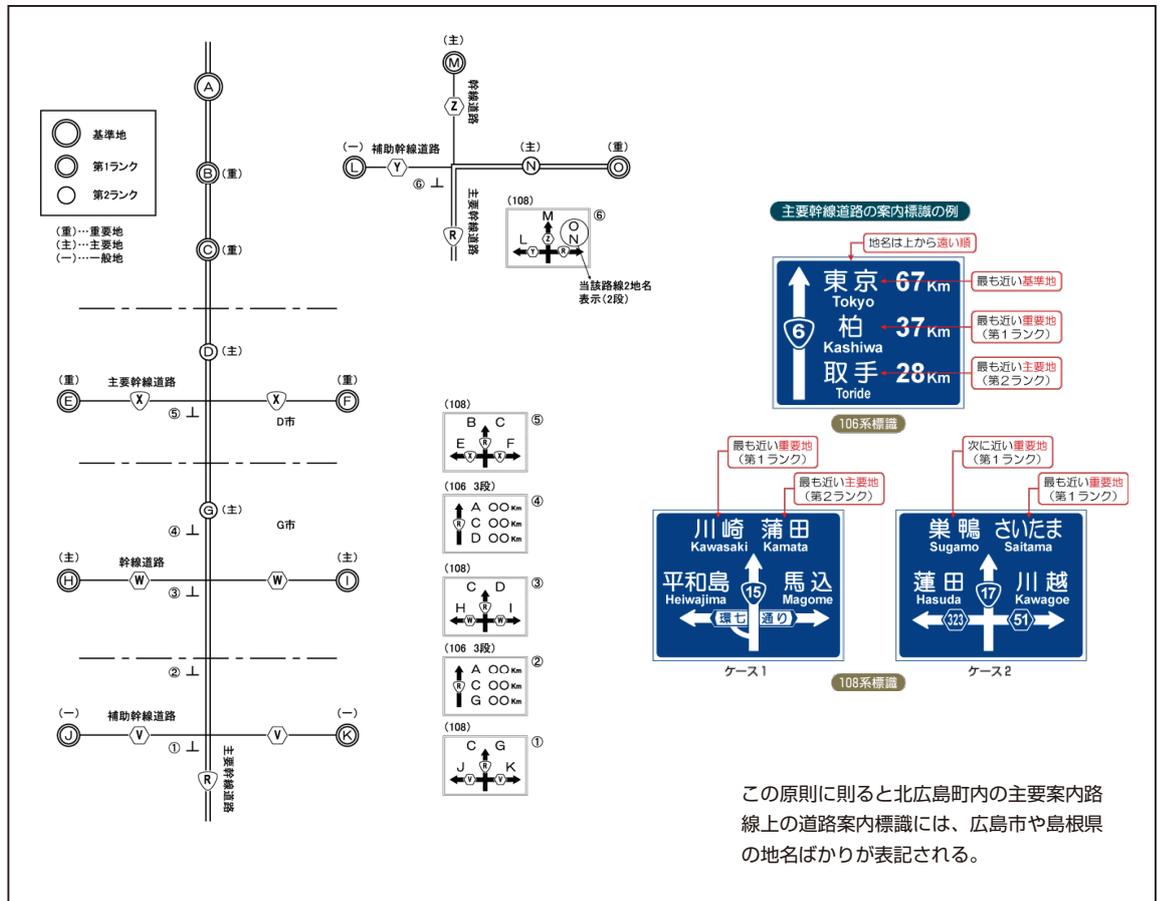
町内の道路案内標識には町内の地名が出てこないものが多い。
(次項参照)



例)芸北～松原分かれの交差点の道路案内標識 — すべての表記が北広島町外の地名になっている

サイン計画として町内の観光案内誘導を考える際に、114系の著名地点案内は当然検討すべきこととして挙げられるが、道路交通のベースとなる108系標識においても観光案内に関連する地名が表記されることで、よりわかりやすい円滑な誘導が実現できると考えられる。しかし道路には一つの場所へ導くという以前に広域誘導という重要な役割を担っている。そのため、主要幹線道路上の108系標識に北広島町内の地名を表示させるためには、これから長い時間をかけて広域の交通網における拠点であると認められる必要があると考えられる。そういった点からも、まずは広島県が進める観光サイン整備計画と連携し114系標識の充実を図ることが大切である。

参考)目標地の選定の例 (出典：国土交通省 H17 案内標識の表示地名に関する基準(案)の改訂について)



1-2.108 系道路案内標識に残る旧町名表示に関する考え方



例)旧芸北町、旧千代田町の表記が残っている町道の108系道路案内標識→いずれ近傍の字名に変わる

現在あるほぼすべての道路案内標識(主に幹線道路と町道上にある標識)には旧4町の町名がそのまま残っている。これは道路案内標識の原則からは外れており、今後各標識がメンテナンス時期になると原則に則り、近傍の字名へと表示が見直されていく予定である。しかし、旧町名は実際には多くの固有名詞に使われていたり、また町内外の人々にとって町内における大体の場所の把握と理解を深めるうえでは有効に働いている。この実情を踏まえ、本計画ではこの旧町名を地域名として位置づけ、総合案内サインや周辺案内サインにエリア名として表示することとする。
(※ただし、過渡期であるがゆえの対処として考え、今後旧町名の必要性については継続的に協議を行うこととする)

1-3. 字名の積極的な表示に向けて 一広域誘導先としての魅力化一

北広島町サイン計画(H24)においても観光上積極的にアピールし誘導していくエリアと定めた八幡地区の「八幡高原」を新しい一般地として設定されるように、継続的に広島県・国土交通省へ働きかけをしていくことを検討する。また、現在設置されている道路標識の位置と観光誘導の観点から有効な字名を積極的に表記していただくようこちらも検討する。そのためには、国や広島県の動きとして中山間地域への観光強化といった動きを期待するとともに、「八幡高原」や各字にある観光拠点が広域誘導の観点から見た時に誘導するべき場所であると判断されるよう、継続的な拠点整備ならびに情報発信を行い更なる魅力化を推し進めることが必要である。

新しく設定すべき一般地	観光の観点からこれまで以上に積極的に表記すべき字名
<p>八幡高原 ※八幡高原は観光上呼ばれている通称</p>	<p>才乙、田原、鳴滝、 ※才乙については町道にいくつか表記されている道路案内標識がある。他は現状なし。</p>

以上のことから、以下に示す項目を北広島町内の案内誘導のベースとして、まずは町道における道路案内標識ならびに、総合案内サインや周辺案内に積極的に表記していくこととする。

- 地域名(旧町名)：千代田、芸北、大朝、豊平
- 八幡高原
- 観光案内上表記が有効な字名(才乙、田原、鳴滝 ※H25現在)